



除染作業が具体化、ここからが課題解決の出発点です

園長 山下 勝弘

2011年3月の東日本大地震とそれに続く原子力発電所放射能被害発生から満3年2ヶ月が経過して、やっと白河めぐみ学・白河こひつじ学園関係の除染事業の実施が具体化してきました。

5月30日に除染事業実施主体である西郷村担当者、除染事業実施業者である西松建設関係者と、具体的な除染事業に関する協議をおこないました。

この協議で、6月5日にあらためて事前放射線量のモニタリングを実施し、これによって具体的な施工計画を作成、除染作業は9月上旬から開始され終了は11月中旬を予定しています。作業実施に関連した詳細な内容は今後の検討事項ですが、児童の生活に支障がないように十分配慮した作業実施を要望しています。

除染作業の実施が具体化しても、多くの課題が残ります。とくに除染された汚染土搬出先は未整備で、この問題の深刻さは、2011年9月に実施したグラウンドの放射能除染作業結果として発生した汚染土が、現在もグラウンドの片隅に仮置きされたままであることから、十分に推察されます。

2011年3月以前の児童の学園生活と比較すると、「正常化する」「これまでの普通の生活にもどす」必要のある部分が、生活の中で除染作業が実施されても依然として存続しています。

除染作業の終了が課題解決ではなく、むしろ学園生活でも、家庭生活、社会生活でも「どんな毎日過ごすように、なにを支援することが、児童にとって必要であり、大切なのだら？」という課題解決の出発点であることを認識しながら、除染作業を推進し注意深く見守っていきましょう。

親子レクリエーション大会



5月6日に、太陽の国体育館でめぐみ学園こひつじ学園合同の「親子レクリエーション大会」を行ないました。借り物競争ではカードに書かれた物や人物と一緒に、変身ゲームではカードに書かれた人物に変身して、ゴールを目指しました。玉入れはわずかな差で青組が勝利し、綱引きでは2回戦目に紅組が圧倒的な強さを見せ、とても盛り上がりました。みんな笑顔で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

お花見

4月に学園周辺と種畜牧場の桜を見に行きました。満開の桜の下を春の暖かさを感じながら楽しく散歩しました。

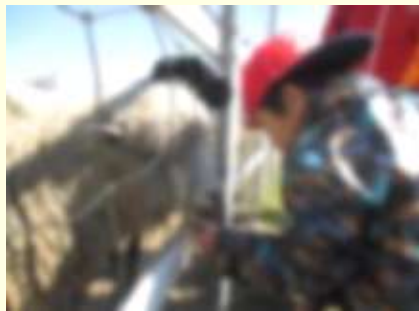


誕生会(4月・5月)

4月、5月生まれのお友達のお誕生日のお祝いをしました。主役の児童は、プレゼントをもらいとても嬉しそうでした。みんなも仲良く、おいしいケーキを食べて、ニコニコ笑顔があふれていました。



めぐみギャラリー



種畜牧場にて

ドライブ先の公園にて

学卒縫製作業(エプロン作り)

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組めます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

